

市政に関する一般質問通告一覧

平成30年第1回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
3月1日(木)	午前9時30分～	1. 鈴木幸彦(創造みらい半田)
		2. 山本佳代子(無所属)
	午後1時00分～	3. 嶋崎昌弘(創造みらい半田)
		4. 鈴木好美(公明党)
		5. 加藤美幸(無所属)
3月2日(金)	午前9時30分～	6. 中川健一(日本維新の会・無所属連合)
		7. 中村宗雄(創造みらい半田)
	午後1時00分～	8. 竹内功治(日本維新の会・無所属連合)

3月1日(木) 午前9時30分～

1. 9番議員 鈴木幸彦 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 大規模災害時の対応について

(1) 指定避難所の運営について

- ①指定避難所は誰が主体となって開設し、運営をしていくのですか
- ②大規模災害時、半田市の避難者数はどの程度と想定されており、その人たちを指定避難所に収容できますか。指定避難所の収容可能人数を超えた場合はどう対応しますか
- ③地域の自主防災組織は、避難所の運営にどのように取り組まれていますか
- ④半田市の備蓄食料、飲料水はどこに保管してあり、誰が管理していますか

(2) 大規模災害時の医療体制について

- ①大規模災害時に発生が見込まれる重傷者について、半田病院はどう対応していきますか。半田病院に収容できない場合はどう対応しますか
- ②医薬品や水、医療ガスをどう確保していきますか
- ③半田市医師会など地域医療との連携と役割分担について、どのように考えていますか

2. 3番議員 山本佳代子 (無所属) 【一問一答】

1 第6期介護保険事業と第7期介護保険事業について

(1) 第6期介護保険事業計画の評価と課題について

- ①第6期介護保険事業における地域密着型サービスの基盤整備の達成状況と未達成で課題を残した事業がなぜ未達成だったのか市民にわかるよう、市報等で知らせてほしいかどうか

(2) 第7期介護保険事業計画について

- ①事業計画の評価について「財政的インセンティブ」が新たに導入される。半田市はどのように取り組む予定か
- ②地域包括ケアシステムの深化、推進について問う
- ③「いきがい」と「ささえあい」の仕組みづくりを行政が活動支援して総合事業の担い手としていく方針には問題があるのではないか
- ④訪問型Dサービスの内容とその計画をどのように考えているか
- ⑤ショートステイを扱う事業所はいくつあるか。又、増やしてほしいがどうか
- ⑥軽度者向け介護が運営難の原因となった事業所がこの事業から撤退しているケースは半田にあるか

3月1日(木) 午後1時00分～

3. 20番議員 嶋崎昌弘 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 自治区支援について

(1) 自治区への加入促進について

- ①過去5年間の加入率は
- ②加入世帯のメリットは何か
- ③未加入世帯のデメリットは何か
- ④28年度自治区の活動に参加した市民の割合は
- ⑤行政ができる加入促進について見解を伺う

(2) 自治区と行政のつながりについて

- ①地域担当職員制度の効果について
- ②行政協力員の役割について
- ③行政事務委託料について
- ④自治振興費交付金について
- ⑤現在42自治区について見解を伺う

(3) 自治区の課題について

- ①役員のなり手不足についての支援は
- ②役員会や行事の情報提供支援は
- ③高齢化に向けての対応支援は

4. 12番議員 鈴木好美 (公明党) 【一問一答】

1 安心・安全な通学路について

(1) 通学路の安全点検と対応について

- ①通学路を指定するにあたり、半田市における基準はあるか
- ②通学路の点検は誰が行っているか、また点検には子ども達も参加しているのか
- ③通学路の一斉点検が実施されているが、27年度に報告のあった危険箇所は28年度の点検において改善がされているのか。また改善されていない危険箇所はどのような事例か
- ④点検結果に対して迅速かつ計画的な対応が必要と思うが、どのように実施しているのか

か

⑤危険箇所の点検を受け、市、学校、保護者、教育委員会が連携して現場対応はしているのか

⑥通学路の状況は、利用する児童・生徒の増減や通学路を通る地域の環境や交通状況の変化によって変わっていくため、継続的な安全点検が必要と思うが、今後どのような形でPTAや保護者の方々と合同安全点検を実施していくのか

(2) 通学路の安全対策について

①通学路の安全を考えれば学校周辺にゾーン 30 の速度規制の路面標示の実施、またスピードを抑制するハンプが効果的と考えるが如何か

(3) 通学路での防犯対策・防犯教育について

①学校は登下校の巡回活動や見守り活動をどの様に行っているか

②子ども達に登下校時の防犯対策や防犯教育はどの様に行っているか

③不審者情報などをいち早く提供するにはどのような方法が考えられるのか。また不審者情報は全ての保護者が共有しているのか

④登下校時の路上での防犯安全対策に防犯ブザーなどの防犯グッズが必要と考えるが如何か

5. 15番議員 加藤美幸 (無所属) 【一問一答】

1 文化・芸術の振興について

(1) 音楽文化振興事業について

①事業内容は、どのように決めるのか

②市民の感想やニーズを把握しているか

③高価な「スタインウェイ&サンズ」のピアノを購入後、目的にあった活用は、どのようにされたか

④高価な「スタインウェイ&サンズ」のピアノを今後、どの活用し多くの市民に還元する考えか

⑤東海市や武豊町、刈谷市など近隣市町では、数多くの音楽イベントやプロの演奏会が催されているが、半田市の今後の音楽振興の方向性や計画はどのようなか

(2) 文化振興事業について

①事業内容は、どのような目的で決めるのか

②市民の感想やニーズを把握しているか

③これからの芸術振興の方向性や計画はどうか

(3) 文化・芸術事業のすすめ方について

①市民のNPO、民間などの企画運営への介入や、外部委託の考えはあるか

2 女性の活躍推進について

(1) 女性の登用について

①女性職員の幹部への登用の現状をどう捉えるか

②ダイバーシティー (多様性) をどう考えるか

③登用への計画や事業、課題は何か

(2) 職員の離職について

- ①職員の離職理由に男女でどのような違いがあるか
- ②子育てとの両立支援はどのようなか
- (3) 女性活躍推進事業について
 - ①女性活躍促進宣言を半田市は、いつ宣言するのか
 - ②市内事業者への働きかけはどうか
 - ③女性の活躍推進が地域へもたらす影響をどう考えるか
 - ④自治区や商工会議所などへの働きかけはどうか
 - ⑤女性の活躍促進宣言や、あいち女性輝きカンパニーの認証企業が少ないことに、今後どう取り組むか

3月2日（金）午前9時30分～

6. 1 番議員 中 川 健 一 （日本維新の会・無所属連合） 【一問一答】

- 1 市長自身が選挙で市民に判断を仰ぐとしていた半田病院移転先案、職員駐車場公約を撤回したのだから、潔く辞職すべきだ
 - (1) 平成 29 年 10 月 30 日、半田病院の移転先として、職員駐車場ではなく半田運動公園を移転先候補地の一つとして計画を再検証するよう大村知事が提案したことについて
 - ①大村知事は救命救急センターの許認可権にも言及したとのこと。所管の愛知県医務国保課は半田病院を職員駐車場へ移転させる案について、いつ内諾をしましたか
 - (2) 市長選挙で最大の争点であった半田病院の移転先について、職員駐車場案を公約に掲げた市長は選挙に勝ったにも関わらず支援者を裏切り、有権者でもない大村知事の意見を優先したと言う市長の説明は理解に苦しむ
 - ①選挙公約と言う有権者との契約よりも、大村知事の意見を優先したのはなぜですか
 - ②市長選挙公約であった、職員駐車場を撤回したのだから、辞職すべきと考えますが、いかがですか
- 2 これまでの病院移転先に関する議論にあったでたらめな市長の説明、移転先を無理やり職員駐車場にしようとするストーリー・意図が見え隠れ
 - (1) 平成 33 年開院と言う建設スケジュール優先で職員駐車場案を推進する最大の根拠が大規模修繕費 140 億円と病院経営の赤字であったはずだが
 - ①平成 28 年 9 月議会では、平成 34 年以降の開院となると、大規模修繕費 140 億円が必要になるので、病院は赤字経営となり、現実的ではない、と言う答弁がありました。ところが今は平成 37 年度開院、平成 46 年に単年度黒字化で議論が進んでいます。移転先を無理やり職員駐車場にしようとするストーリーがあったため、その時の答弁は間違ったと考えますが
 - (2) 平成 33 年開院と言う建設スケジュール優先を盾に手続きに時間がかかる市街化調整区域内と都市計画公園を含む移転先候補地は除外をしたはずだが
 - ①平成 28 年 12 月議会にて私が移転先案として提案した北部グラウンドや半田運動公園周辺に対して、市街化調整区域なので、基本的には病院は建設出来ないことになっている、との答弁がありました。ところが今は半田病院の移転候補地として北部グラウンドと半田運動公園が議論されています。その時の答弁は間違っていたと考えますが
- 3 現在の新病院移転先検討の問題点、病院づくりはまちづくりだが市長は半田市民と知多半島

住民をほぼ無視して移転先の検討を進める

- (1) 市民生活に密着した半田病院の移転先について、半田市民は決定過程からほぼ排除されたまま議論が進んでいる
 - ①職員駐車場案を撤回後の半田病院を高台へ移転させる議論では、市長は半田市民の意見を公式の場で全く聞いていません。なぜですか
 - ②常滑市では新病院のあり方を考えるにあたり市民を巻き込むために「100 人会議」を立ち上げ、「市民にとって、本当に必要な病院づくり」を目標に会議を進めたとのことです。常滑市に出来ることが半田市では出来ないのはなぜですか
- (2) 現在の半田病院の移転先議論にはまちづくりの観点が欠落している。半田病院が半田運動公園か北部グラウンドへ移転するとして、市民生活はどう良くなるのかを市民へ示す責任が市長にはある
 - ①中心市街地から離れた移転先の場合、市民の病院までのアクセス方法については、西知多総合病院のように、無料のアクセスバスを走らせるべきと考えますがいかがでしょうか
- (3) 半田病院は半田市を中心とした知多半島 5 市 5 町の中核病院（救命救急センター、地域中核災害医療センター、地域がん診療連携拠点病院）としての役割を担っているが、平成 37 年の新病院開院後は半田市より毎年約 15 億円もの運営補助金が支出される想定
 - ①半田病院の利用者は約 48%が市外からの患者です。市外の患者に半田病院の移転先についてのご意見を伺わないのはなぜですか
 - ②西知多総合病院は、知多市民病院と東海市民病院を平成 27 年 5 月に経営統合して開院しました。半田病院の役割から考えて、半田病院は半田市単独の経営ではなく、一例として 2 市 4 町（半田市、常滑市、武豊町、阿久比町、南知多町、美浜町）による広域経営とすべきと考えますがいかがでしょうか
 - ③大村知事も心配をしていた救命救急や災害医療のあり方など愛知県や国とはどのように話のすり合わせをしていますか
- (4) 半田運動公園多目的グラウンド、北部グラウンドと言う市有地に限定して半田病院の移転先を決めようとするのは半田の街の可能性を損なっている
 - ①市有地に限定せず、半田市民へ広く民有地提供のお願いをすべきと考えるのがいかがでしょうか
- (5) 平成 32 年 4 月のオープンを目指す藤田保健衛生大学岡崎医療センターと半田病院との比較について、3 万㎡の敷地に 400 床のベッド数、二次救急医療を 24 時間 365 日体制で対応する、総事業費は約 200 億円、その他に土地購入に 30.5 億円投資する計画あり
 - ①平成 29 年 3 月発表の新病院建設構想では 411 床規模の病院の事業費として約 248.8 億円と設定していた。平成 30 年 1 月 22 日開催の新病院建設候補地検討委員会第 2 回検討会議で示された事業費が 290 億円を超えている。当初より 50 億円も増えた理由は何ですか

7. 17 番議員 中村宗雄（創造みらい半田） 【一問一答】

1 半田市の中小企業や小規模事業者の支援を通じたまちの活性化について

- (1) 半田市の産業の大半を占める中小企業や小規模事業者の現状について

- ①日本の企業における中小企業の占める割合は99.7%で、そのうち小規模事業者が占める割合は85.1%と言われております。税金においても雇用においても、産業の大半を占める中小企業や小規模事業者が元気でなければ、そのまちの活性化は図れません。その中で、半田市における工業の分野では、工業統計によると事業所数は平成22年の276事業所から直近の平成26年では239事業所と14%減少し、それに伴う従業員数は14,603人から12,935人と1,668人の減少、出荷額においては平成24年をピークに157億円減少している現状について半田市は如何お考えですか
 - ②商業の分野でも平成19年の事業者数は1,284事業所から直近の平成26年では934事業所と28%の減少、従業員数は10,661人から8,446人と2,215人減少している現状について如何お考えですか
 - ③農業の分野でも平成22年には農家戸数713戸が直近の平成27年では533戸と26%の減、それに伴い耕作面積は平成22年の45,176aから3,762aも減少している現状について如何お考えですか
- (2) 半田市の中小企業や小規模事業者への支援施策の現状について
- ①半田市は現在、中小企業や小規模事業者への支援施策として何を目的とし、どのような事を行っていますか
 - ②半田商工会議所が行う中小企業や小規模事業者への支援施策と、半田市が行っている施策は、どのような連携と区別をしていますか
 - ③それらの中小企業や小規模事業者への支援施策の結果から考えた有効性については如何お考えですか
- (3) 今必要とされる半田市の中小企業や小規模事業者への新たな産業支援施策について
- ①今後も現在行っている中小企業や小規模事業者への支援施策を継続して行うことで、半田市の産業の縮小化を食い止め、雇用の創出や各分野の産業の活性化が図れるとお考えですか
 - ②いま全国で静岡県富士市が行うf-Biz（エフビズ）をモデルとした高いコンサルティング力をベースに創造性の高いワンストップの個別支援を重視する産業支援の手法（Biz）を地方創生やまちの活性化に向けての原動力のひとつにしている自治体はいくつかありますが、半田市として同様な産業支援施策（仮称 Dashi-Biz）に取り組むお考えはありませんか

3月2日（金）午後1時00分～

8. 2番議員 竹内 功治（日本維新の会・無所属連合） 【一問一答】

1 園・学校施設の充実について

(1) 空調機（エアコン設備）の設置について

- ①平成32年度に中学校教室等への設置工事を設計するとのことだが、具体的な計画を伺う
- ②未設置である小学校教室等への設置は、どのように考えているのか

(2) 窓ガラスの飛散防止対策について

- ①強化ガラスや飛散防止フィルムなど、飛散防止対策の現状を伺う
- ②今後の取組みについて、どのように考えているのか

(3) 老朽化への対策について

①施設の老朽化の現状を伺う

②施設の老朽化に対する取組みと、今後の計画を伺う